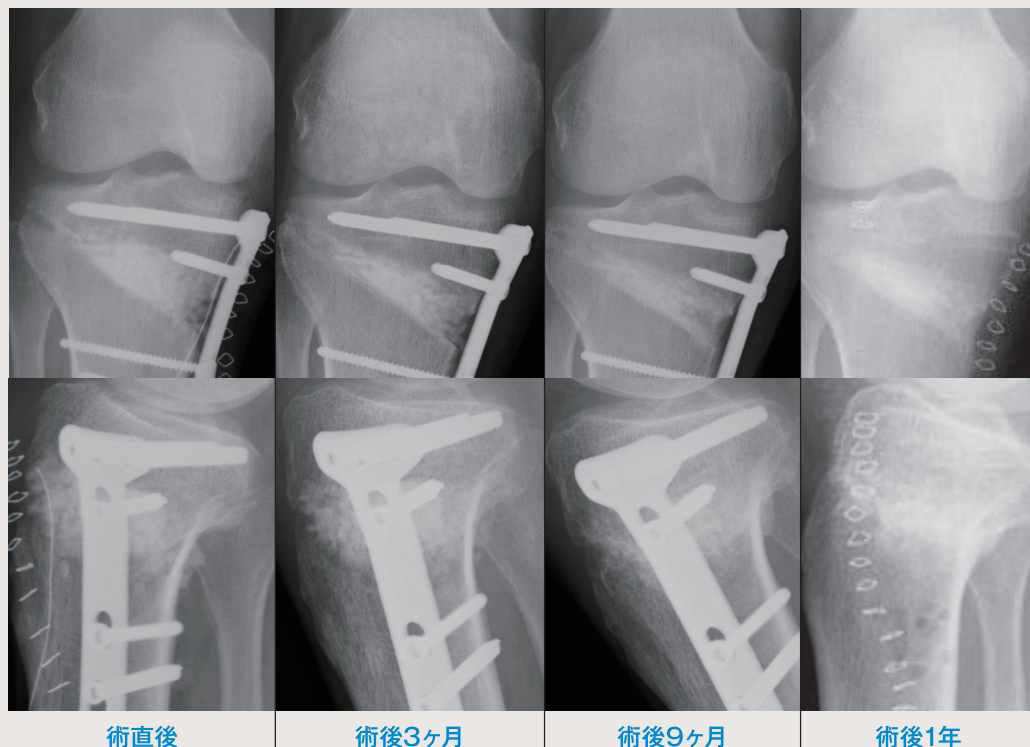


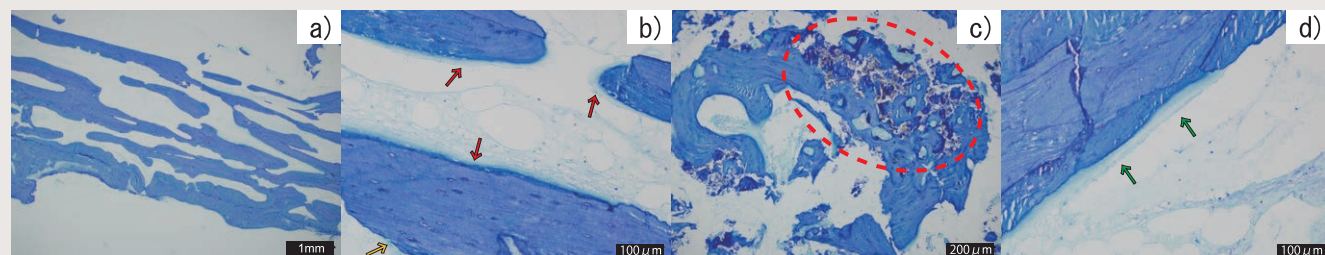
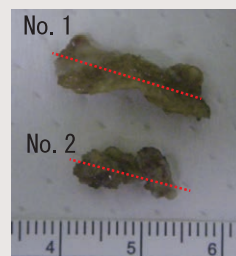
変形性膝関節症に体する高位脛骨骨切り手術 (オープンウェッジ法)



術約1年後の β -TCP人工骨 (スーパーポア) を含む骨組織検体の組織学的観察

硬組織標本

No.1	
a) $\times 20$	b) $\times 200$
No.2	
c) $\times 100$	d) $\times 200$



No.1 層状に重なった骨梁構造から、皮質骨付近の組織であると推測された。(Fig.a) 残存する β -TCP (スーパーポア) は認められなかった。骨組織は類骨層 (赤矢) や破骨細胞による吸収窩 (黄矢) が認められることから、リモデリングが行われている組織であると考えられた。(Fig.b)

No.2 組織の一部に β -TCP (スーパーポア) の残存 (赤破線) が認められた。(Fig.c) 残存する β -TCP (スーパーポア) は少量で周囲は骨組織に囲まれていた。 β -TCP (スーパーポア) 周囲以外の組織についてはNo.1同様にリモデリングが行われていることが推測でき、特に骨形成面が豊富に存在した。一部では骨芽細胞 (緑矢) も認められた。(Fig.d)